



2025年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月15日

上場会社名 株式会社GRCS 上場取引所 東
コード番号 9250 URL <https://www.grcs.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 慈和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田中 郁恵 TEL 03 (6272) 9191
半期報告書提出予定日 2025年7月15日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無（決算説明動画配信）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年12月1日～2025年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期中間期	1,601	△0.9	△95	—	△109	—	△84	—
2024年11月期中間期	1,616	18.3	30	—	17	—	2	—

(注) 包括利益 2025年11月期中間期 △84百万円 (—%) 2024年11月期中間期 2百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期中間期	△62.51	—
2024年11月期中間期	2.18	—

(注) 2024年11月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。2025年11月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期中間期	2,078	343	14.8
2024年11月期	1,923	415	20.4

(参考) 自己資本 2025年11月期中間期 307百万円 2024年11月期 391百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年11月期	—	0.00	—	—	—
2025年11月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,953	20.2	115	161.5	89	249.4	60	△46.1	44.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年11月期中間期	1,380,130株	2024年11月期	1,380,130株
② 期末自己株式数	2025年11月期中間期	29,803株	2024年11月期	29,803株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年11月期中間期	1,350,327株	2024年11月期中間期	1,295,330株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明動画の入手方法)

決算説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。また、決算説明動画を同日当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復が期待されております。しかしながら、米国の通商政策の影響、物価上昇の継続による個人消費に及ぼす影響等が景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが属する事業環境においては、サイバーセキュリティ対策、生成AI活用に伴うセキュリティリスクへの対応が進む等、GRC及びセキュリティ領域への対応に関心が高まる状況となりました。

このような環境の中、当社グループは、持続的な企業成長を支えていくため「進化に、加速を。」をミッション、「世の中を、テクノロジーでシンプルに。」をビジョンに掲げ、複雑に変化し続ける世の中で直面する多種多様なリスクへ敏感に迅速に対処するために常に新しいことに挑戦し、進化し続け社会的価値の向上に取り組んでおります。

当中間連結会計期間においては、セキュリティソリューション事業、GRCプラットフォーム事業、フィナンシャルテクノロジー事業の3事業体制の組織へ移行し、事業戦略を定め売上高拡大に向けて注力いたしました。

セキュリティソリューション事業においては、AIによるペネトレーションテストサービス「RidgeBot」の提供を開始し、引き合いが増加しております。既存製品では、厳格化する法規制や改正個人情報保護法に対応するため、データプライバシーにおけるデータ管理の一元化・可視化と自動化を実現する「OneTrust」の新規導入が引き続き好調となりました。セキュリティコンサルサービスにおいては、人材育成へ注力してまいりましたが案件創出に時間がかかる状況となりました。GRCプラットフォーム事業においては、外部委託管理が重要視されている保険業界、金融業界へ外部委託先リスクマネジメント支援ツール「Supplier Risk MT」を導入し、委託先管理業務の効率化を支援いたしました。また、サイバーリスク管理の重要性を重視し、AIを活用した「SecurityScorecard」との機能連携の提供も開始いたしました。フィナンシャルテクノロジー事業においては、追加プロジェクトの受注時期がズレたものの、開発案件は順調に進捗しております。また、営業活動の結果、横浜グローバルセンターで行っているオペレーションサービスの提供を、アジア圏においても新規で開始しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高1,601,906千円(前年同期比0.9%減)、売上総利益471,615千円(同17.4%減)、営業損失95,852千円(前年同期は営業利益30,865千円)、経常損失109,726千円(前年同期は経常利益17,868千円)、親会社株主に帰属する中間純損失84,412千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益2,823千円)となりました。

なお、当社グループはGRCソリューション事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ155,311千円増加し2,078,729千円となりました。

2023年11月期に実施したフィナンシャルテクノロジーの事業譲受に関して、取得対価に含めていなかった残り200,000千円の支払条件が充足され、支払を完了したことにより現金及び預金が114,763千円減少いたしました。また、のれんの計上、新しくソフトウェアを開発していること等により無形固定資産が159,660千円増加いたしました。

これらが主な要因となり、資産合計が増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ226,859千円増加し1,734,912千円となりました。

金融機関からの資金調達により短期借入金が54,998千円増加、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)が90,199千円増加、社債の発行により社債(1年内償還予定の社債含む)が130,000千円増加いたしました。

これらが主な要因となり、負債合計が増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ71,547千円減少し343,816千円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が84,412千円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は14.8%(前連結会計年度末20.4%)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、625,268千円となり、前連結会計年度末残高に比べ114,763千円減少いたしました。なお、当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は119,367千円(前年同期は195,193千円の収入)となりました。

資金の主な増加要因は、フィナンシャルテクノロジーの事業譲受によるのれん償却費の増加額101,940千円によるものであります。

資金の主な減少要因は、従業員へのインセンティブとして支払う賞与による未払費用の減少額62,318千円、税金等調整前中間純損失109,726千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は264,451千円(前年同期は209,701千円の支出)となりました。

資金の主な減少要因は、ソフトウェア開発による無形固定資産の取得による支出57,801千円、フィナンシャルテクノロジーの事業譲受による支出200,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は271,333千円(前年同期は12,032千円の収入)となりました。

資金の主な増加要因は、事業投資やM&A等に柔軟に対応することを目的とした長期借入れによる収入200,000千円、社債の発行による収入136,136千円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月期の連結業績予想については、2025年1月14日に「2024年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	740,032	625,268
売掛金及び契約資産	491,070	497,754
仕掛品	3,510	2,683
前渡金	68,040	135,769
前払費用	30,249	38,483
その他	4,183	1,275
貸倒引当金	△4,493	—
流動資産合計	1,332,592	1,301,235
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	53,458	50,277
工具、器具及び備品(純額)	7,886	11,101
有形固定資産合計	61,345	61,379
無形固定資産		
ソフトウェア	21,085	23,752
ソフトウェア仮勘定	1,989	61,623
のれん	340,160	438,220
顧客関連資産	12,483	11,783
無形固定資産合計	375,719	535,379
投資その他の資産		
長期前払費用	1,381	1,175
繰延税金資産	111,100	138,201
差入保証金	38,379	38,866
その他	1,750	1,750
投資その他の資産合計	152,612	179,993
固定資産合計	589,677	776,751
繰延資産		
社債発行費	1,147	742
繰延資産合計	1,147	742
資産合計	1,923,417	2,078,729

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,500	116,457
短期借入金	37,499	92,497
1年内償還予定の社債	20,000	48,000
1年内返済予定の長期借入金	193,994	223,988
未払金	—	100,000
未払費用	283,853	221,880
未払法人税等	32,769	3,123
未払消費税等	89,555	33,980
契約負債	180,642	260,980
預り金	22,765	23,012
賞与引当金	—	32,230
流動負債合計	991,580	1,156,150
固定負債		
社債	50,000	152,000
長期借入金	348,862	409,067
資産除去債務	17,611	17,695
長期未払金	100,000	—
固定負債合計	516,473	578,762
負債合計	1,508,053	1,734,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,524	50,000
資本剰余金	314,340	627,864
利益剰余金	△186,403	△270,815
自己株式	△99,718	△99,718
株主資本合計	391,743	307,331
新株予約権	23,620	36,485
純資産合計	415,364	343,816
負債純資産合計	1,923,417	2,078,729

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
売上高	1,616,210	1,601,906
売上原価	1,045,193	1,130,291
売上総利益	571,017	471,615
販売費及び一般管理費	540,152	567,467
営業利益又は営業損失(△)	30,865	△95,852
営業外収益		
受取利息	2	250
受取手数料	181	151
その他	15	0
営業外収益合計	200	402
営業外費用		
支払利息	3,427	5,117
株式交付費	5,589	—
社債発行費	405	4,268
外国源泉税	—	2,671
為替差損	3,373	1,699
その他	402	517
営業外費用合計	13,197	14,275
経常利益又は経常損失(△)	17,868	△109,726
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	17,868	△109,726
法人税、住民税及び事業税	21,427	1,786
法人税等調整額	△6,382	△27,100
法人税等合計	15,045	△25,313
中間純利益又は中間純損失(△)	2,823	△84,412
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	2,823	△84,412

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	2,823	△84,412
中間包括利益	2,823	△84,412
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,823	△84,412
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	17,868	△109,726
減価償却費	8,024	9,857
のれん償却額	59,083	101,940
株式報酬費用	7,330	12,864
受取利息	△2	△250
支払利息	3,509	5,117
株式交付費	5,589	—
為替差損益(△は益)	953	1,933
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△4,493
売上債権の増減額(△は増加)	△85,578	△6,683
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,064	826
仕入債務の増減額(△は減少)	2,936	△21,154
賞与引当金の増減額(△は減少)	45,953	32,230
契約負債の増減額(△は減少)	119,246	80,337
前渡金の増減額(△は増加)	△48,706	△67,729
未払費用の増減額(△は減少)	11,616	△62,318
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,716	△55,575
その他の資産の増減額(△は増加)	14,039	△4,858
その他の負債の増減額(△は減少)	△323	246
その他	4,679	△2,287
小計	196,872	△89,721
利息の受取額	2	250
利息の支払額	△3,486	△5,033
法人税等の支払額	△868	△24,863
法人税等の還付額	2,673	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,193	△119,367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,068	△6,578
無形固定資産の取得による支出	△1,909	△57,801
事業譲受による支出	△200,000	△200,000
差入保証金の差入による支出	△1,224	△72
その他	△1,500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△209,701	△264,451
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	54,998
長期借入れによる収入	150,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△85,582	△109,801
社債の発行による収入	—	136,136
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
株式の発行による収入	114,332	—
新株予約権の発行による収入	2,082	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△58,800	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,032	271,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	△953	△2,277
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,429	△114,763
現金及び現金同等物の期首残高	611,459	740,032
現金及び現金同等物の中間期末残高	608,029	625,268

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年4月4日に無償減資を実施いたしました。この無償減資の結果、当中間連結会計期間において資本金が313,524千円減少し、資本剰余金が313,524千円増加し、当中間連結会計期間末において、資本金は50,000千円、資本剰余金は627,864千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、GRCソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。